

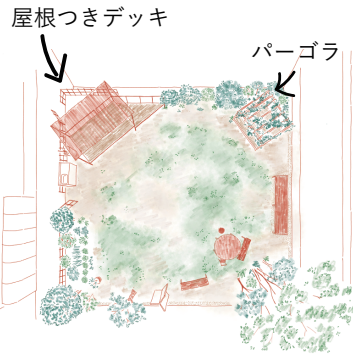
こんにちは。

北四国町会の新しいプロジェクト「芝のほらっぱ」実行委員会です。年齢も持ち味も様々なメンバーが集まり「みんなのほらっぱ」を運営していきます。オープンしていい時も、通りに面したベンチはいつでもお座りいただけます。ぜひどうぞを緑を感じてみてください。



大学生のいろはです。
(北四国町会準会員、大田区在住)

芝のほらっぱでひときわ目を引くのが二つの大きな建造物、「屋根つきデッキ」と「パーゴラ」だと思います。屋根つきデッキはプロの手(武田屋作庭店)によりつくっていただきました。



一方パーゴラは町会長杉山さんが自宅で作られたものをベースに、緑のある場のデザインが専門のフォルク(第3号参照)と共に芝のほらっぱらしいデザインを考えてみました。つくる過程には実行委員を中心に地域の仲間もたくさん加わり、延べ10日間をかけ、約120人ほどの手により完成しました。

私からはそんなDIY(自分たちでつく)についてお話しします!

そもそもパーゴラとは何でしょうか。私も聞いたことがありませんでした。簡単にいうと格子状の屋根を持つ構造物のこと。イタリア語の「葡萄棚」が語源となっているそうです。

DIYでパーゴラができるまで

1 木材調達

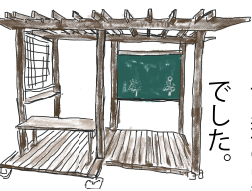
大きなホームセンター(千葉県)を3往復。コンクリート土台(11個)や木材を大量に調達。

2 木材の切り出し

必要な長さを測り、印や番号をつけ、ジグソーやのこぎりを使って切り出します。

1 番難しかったのは、溝をつくって十字に組み合わせる屋根部分。ジグソーを細かく動かしてホソ(凹型の穴)をくり抜くのは大変でした。

屋根のデザインカットの角度にもこだわっています。



ぜひチェックしてみてください!

3 焼き入れ、磨き

草焼きバーナーを使って表面を加工(虫食いや腐食防止のため)かなり重く熱いためひと苦労。交代しながら炭化するまでしっかりと焼きました。その後、たわしや布で磨くと艶が出てきました。



4 組み立て

土台となる重たいブロックの位置決めもひと苦労。やり直しを繰り返しながら埋め込みました。その上に支えとなる柱を立て、天井の木材をのせます。水平を測り木を削りはめていきました。床部分は、木材の幅が均等になるよう配置したら電動ドリルを使ってねじで固定。

木材を磨いたり、ねじを打ち込む作業は子どもたちも一緒に行いました。



またDIYに興味のある高校生や、大学生、大人の皆さんの参加は心強かったです。初めは、設計図や写真をみても「これをつくるの?!」と、実感が湧きませんでした。しかし、木材をはめていくと、どんどん形になり感動しました。このパーゴラの魅力の一つには、旧芝の家から引き継いだ黒板があります。他にも腰かけられるような台や、つるバラを這わせるフェンス(百日紅の枝で加工)など思い出と工夫がたくさん詰まっています。これからはつるバラが覆い日陰を作ってくれることでしょう。



「はらっぱづくり隊」でリーダーを務めましたのりーです（北四国町会準会員、地元は新橋露月町）

仕事柄ちょっとした建物の補修などDIYの経験は多少ありましたが、今回のはらっぱづくりにはDIYに馴染みがない方がほとんどだったので、心配もありました。しかし、つくり方を見せながら「やってみる？」と声をかけるとほとんどの方がトライ、皆さん初めての経験を楽しみ、気がつけば真剣な表情。おっかなびっくりで始めても、最後の方は道具を使いこなしていました。



木材を焼いたり磨いたり、石を並べたり、と夢中になっていく姿をたくさん目にすることができ、嬉しく思いました。

特に中心になって関わってくれたメンバー達がメキメキと道具の使い方をマスターしていったこと、買い出しに同行してくれたことは本当に心強かったです。苦労したのは、工程が順調には進まなかったこと。

天候に左右されたり、専門家の方との都合が合わなかったり。けれど最終的には多くの方の参加と、中心メンバーの「集中力」にて、約3ヶ月半で完成に近づけることができました（第2号、3号の「はらっぱ日誌」にその過程は報告）。

モットーは「いい加減はダメだけど、いい加減だったらいよいよ」の精神。

少しの切り過ぎや柱の長さが想定間違いで足りなくなるなど失敗もあったけれど、追加修正をしながら「ほど良い加減」に進められてよかったです。これからも活動する人のワクワクする気持ちを大事にしながらか「失敗」も前向きに捉え、一緒に「はらっぱづくり」をやっていききたいですね。

庭づくりの日
(メンテナンス作業日)の予定

10月2日(土)、10日(日)
13:30~16:00

10月24日(日)
10:00~12:30

ご参加お待ちしております。

通常オープンも再開しました。日にち、時間帯など最新の情報はホームページや掲示板をご覧ください。

はらっぱ日誌

七月〜九月三十日
緊急事態宣言の期間、オープン（解放日）はお休みし、メンテナンス作業を中心に活動しました。

七月

三日 雨天のためオープンはお休み。メンテナンス作業のみ実施

十日 イベント：音あそび実験室

ハウジング&コミュニティ財団の助成団体報告・勉強会に参加

中旬 トマト、バジル、黒豆などの収穫がはじまる

二十四日 メンテナンス作業日（草取り、芝刈り、朝顔のつる誘引など）

三十日 芝のはらっぱ通信第3号発行

三十一日 倉庫や道具類到着、備品購入片付け

八月

一日 メンテナンス作業日（草取り、トマトの手入れ、カフェイロはよりベンチ

2脚を移動など）

六日 朝顔、フウセンカズラ勢いよく蔓を伸ばす、網の取り付け

見守り隊打ち合わせ

九日 強風で案内用看板、外れる

八月

中旬 朝顔やフウセンカズラなどが次々に花を咲かせる

二十八日 ハウジング&コミュニティ財団の助成団体報告・交流会に参加

二十九日 メンテナンス作業日（草取り、特に屋根付きデッキや地面の草取り）

九月

九日 ミニホ設置工事

十二日 メンテナンス作業日（ブルーベリーの木、ダリア、アボガド苗木の移動。芝の家姉妹拠点・ご近所ラボ新橋より）

十九日 ワークショップ「秋冬の庭づくり」

講師：武田屋作庭店

二十五日

秋蒔き野菜の種まき（人参セロリなど）蜂対策作業

朝顔まだ元気に咲き乱れる

そのほか

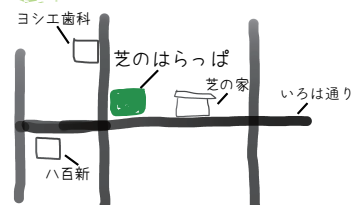
六月十五日 取材：雑誌『ソトコト』9月号掲載の写真

八月初旬 取材：『田町新聞』（紙媒体）8月20日発行

九月十二日 取材：雑誌『city&life』別冊、2022年春発行



運営：北四国町会 芝のはらっぱ実行委員会
協力：芝の家 (03-3453-0474)
問合せ先：contact@shibanoharappa.tokyo



所在地：港区芝3-26-10
(ハイツ猿田&芝の家旧拠点跡地)

